

R7デジスキ申込書 下書き用

事業者名		デジスキ産業				
組織形態	株式会社	法人格前・後	前			
代表者名	出地好太郎		フリガナ	デジスキタロウ		
電話番号	097-533-1196	住所	大分県大分市金池町5丁目2番2号			
ご担当者名	出地好次郎		フリガナ	デジスキジロウ		
ご担当者 電話番号	097-533-1196	役職	マネージャー			
ご担当者メールアドレス (こちらに採択結果などお送りします)			dx@digisuki.com			
業種	製造業	従業員数	11～30	資本金	800 万	
事業内容		大分県産の魚介類を使用した冷凍食品の製造をメインに、主に九州圏内の飲食店及び百貨店へ営業展開及び販売を行っています。				
本事業を知ったきっかけ		チラシ				
大分県DXコーディネーター事務局が 主催の補助金活用セミナーについて		不参加				
過去のデジスキの申請について		今回が初めて				
過去「デジスキ」の申請について、以下の内容にご回答ください。 ・現在の契約状況について(選択式) ・理由(記述式) ※過去デジスキを利用した事業者のみ回答		選択してください				
		理由				
現在のツールの契約状況について デジスキで導入したツールの現在の契約 内容について記入 ※過去デジスキを利用し、現在も利用中 のツールがある事業者のみ回答	ツール名		プラン名		ライセンス数	
	ツール名		プラン名		ライセンス数	
	ツール名		プラン名		ライセンス数	
	ツール名		プラン名		ライセンス数	
	ツール名		プラン名		ライセンス数	
現在も利用している証憑 (画面キャプチャや請求書等) ※過去デジスキを利用している人のみ回答		管理画面等の現在も利用していることがわかる画面キャプチャ(ツール名・プラン名・ライセンス数・会社名・日付が記載されている)や月額であれば、申請時の直近1～2か月以内、年額であれば直近の更新時の請求書等を用意してください				
現在の利用状況について デジスキでの導入前と導入後の違いについて ※過去デジスキを利用している人のみ回答						

R7デジスキ申込書 下書き用

ツール導入後のビジョン (ツール導入をきっかけにどうデジタル化に取り組みたいか) 文字数250文字程度で記入	中長期的ビジョンについて教えてください(3～5年後にはどう変わっていききたいか)								
	自社ブランド製品の販売拡大で収益増加を目指す。そのためには営業圏の拡大と顧客ニーズを汲み取った製品の開発・販売を進めていきたいと考えている								
	短期的ビジョンについて教えてください (ツール導入をきっかけにどうデジタル化に取り組みたいか)								
	顧客の発注履歴をデータ化し、製造工程の見直し、廃棄の出ない製造計画の管理、をはじめとした業務効率化を実現し、さらには顧客データからどのような製品にニーズがあるのかを分析できるようにしたい								
現状の課題(ビジョンに対して将来像が実現できない課題・要因を3つまで選択可)	顧客情報の不足			在庫管理・工程管理・業務管理がうまく把握できていない			どの業務のデジタル化から始めればいいのかわからない		
	選択した内容の具体的な課題や要因について教えてください								
	お客様情報や注文はExcelの帳票で、製造部門の工程管理はホワイトボードのため、全体的な情報共有ができていないことによるトラブルが発生している。どの部分も改善したいが、優先順位をどうつけていいかわからない。								
導入予定月	年 月				←ツールが複数ある場合は、導入予定が早い方の月				
導入予定ツール 初期設定費用等も記入 金額は本申込時に必要	支払形態 or初期費	月額	商品名	kintone スタンダード	数量 orライセンス数	10	単価	¥1,800	
	支払形態 or初期費	初期費用	商品名	kintone社内研修	数量 orライセンス数	2	単価	¥100,000	
	支払形態 or初期費	選択してください	商品名		数量 orライセンス数	3	単価	¥70,000	
	支払形態 or初期費	選択してください	商品名		数量 orライセンス数		単価		
導入予定ツールの見積等の添付	導入予定のツールの見積もしくは、金額がわかる画面キャプチャ等の用意をお願いします。								
社内にてデジタル人材をどう育成していくか中長期的な計画(3～5年後)～短期的(ツール導入開始～運用まで)な計画を記入してください	中長期的には、今回導入したクラウドサービスを中心に、業務の効率化を社員が率先してできるようになることで、業務のデジタル化を促進していきたい。 また改善したい内容に併せて、デジタル化を敬遠するのではなく、積極的にデジタル化の手段も考えられる人材を育てたい 短期的には、まずは各部門より1名ずつ選出したプロジェクトチームを発足し、今ある課題をどのように、どの順番で解決していくべきか、本事業の伴走支援でレクチャーいただくことで、今後別の課題が出てきた際に社内で解決できるようにしたい。さらに喫緊の課題については、導入するクラウドサービスを利用し、クラウドサービスの操作も併せて社内に早く浸透できるようにプロジェクトチームを中心に普及していきたい。								
その他確認事項 (申込時にチェックをしてください)	☐ プライバシーポリシーへの同意 ☐ 募集要項に記載している要件への同意 (事例集作成の協力、未契約のツールである)								